

「建築電気設備施工標準」改訂2版 正誤表

頁・行	訂正箇所	誤	正
196 頁 上から 8 行目	5.2.4 金属製可とう電線工事 の説明文	合成樹脂管の配管と違い、火災時に有害なガスが発生せず、かつ高い強度と耐衝撃性があるため、電線管工事で広く普及している。	高い強度と耐衝撃性があるため、電線管工事で広く普及している
196 頁 下から 2 行目	(1) 金属製可とう電線管 1) 材料・構造 の説明文	①鉛のめっきを施した・・・	①亜鉛のメッキを施した・・・
364 頁 上から 4 行目	①圧着ペンチ（手動）の説明文	電線の接続にスリーブを用いる場合に使用する工具で、圧着スリーブ用と端子用と区別するため、柄の部分がスリーブ用は赤色、端子用は黄色になっている。	電線の接続にスリーブを用いる場合に使用する工具で、Eスリーブ(リング型)用とPスリーブ(重ね合せ型)・端子用と区別するため、柄の部分がEスリーブ用は黄色、Pスリーブ・端子用は赤色になっている。

令和4年12月20日時点